



竹田人形館春の特別展示

古の雛人形展

2月16日～4月上旬

竹田扇之助記念国際系操り人形館では「古の雛人形展」を開催します。飯田市内の旧家に伝わる江戸時代から大正時代までの内裏雛を中心に展示します。江戸時代に島田村（現松尾地区）の庄屋を勤めた森本家の内裏雛（写真）をはじめ、見事な雛人形をぜひご覧ください。



「実のなる」交流へ

りんごごと柿の苗木を植樹

3月13日

東京都渋谷区と座光寺地区の交流の第一歩として、3月13日（土）、渋谷区山谷小学校と同原宿外苑中学校に、両地区代表者の手でりんごごと柿が植樹されます。植樹後は手入れに訪れ、住民同士の交流へ。夢は交流のシンボルとして、「渋谷りんごの森仮称」の開設。りんご並木の心が住民レベルの交流を通して広がることを願っています。

あとがき

「ふるさとの香りが伝わってきた」「表紙の柿すだれ（写真がとても懐かしい）」「ふるさと、ビッグおいしかったよ」…。本紙創刊号を送付した後、多くの声を寄せていただきました。みなさんありがとうございます。

今回は寒中号をお届けします。本当は「新年号」としたかったのですが、作業が寒中にずれ込んでしまいました。

寒い季節を過ごした分、春の訪れがとても楽しみです。寒さが厳しければそれだけ、春はいつそう美しく感じられます。もうしばらく寒い日が続きそうです。ご自愛くださいますよう。

寒中お見舞い 申し上げます。

寒い日が続いていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

県南とはいえ、ここ座光寺はやはり信州。冬の寒さはなかなかです。今年に入り、凍みるような日がしばらく続きました。立春を過ぎ、日差しがやわらいできると、いつそう春が待ち遠しく感じます。

それでも、この時季にしか見ることのできない美しい風景もあるのです。ひとつは座光寺富士。まだほの暗い中、朝日に照らされた山塊は、赤色に染まり際立ちます。それは、これから始まる新しい一日を象徴するような、新鮮さに満ちています。

次に南アルプス。こちらは夕映えです。山頂を雪に覆われた山々は、沈む陽を受け、朱色、赤紫、紫と、数分の間に刻々と色を変えていきます。一日の終わりがまるで永遠の時間につながっているような、静かで深い色の風景です。



雪をまとった舞台桜と舞台校舎（1月14日）

麻績の里

座光寺便

2010.2
Vol.2
寒中号

南アルプスの夕映え。実際は写真よりずっとずっときれいです。ぜひ本物を見にお越しください。



いまずく
このQRコードを
読み取って
メルマガ登録!!

